2022年度決算説明　及び　2023年度業績予想

2023年5月25日

古河電池株式会社

© 2023 Furukawa Battery

Contents

01 2022年度 通期決算概要

02 2023年度 業績予想

03 トピックス

© 2023 Furukawa Battery

01 2022年度 通期決算概要

© 2023 Furukawa Battery

22年度 連結業績ハイライト

売上高	
69,538 百万円	● 自動車事業において、日本国内・海外ともに新車向け数量増加し、価格改定や為替影響もあり、**増収**。 ● 産業事業において、データセンター向け等が堅調に推移し、**増収**。
前年度比 +10.8%（6,753百万円増）	

営業利益	
1,900 百万円	● 原材料・部品調達コスト・エネルギーコストの高騰により**減益**。
前年度比 △40.9%（1,312百万円減）	

親会社株主に帰属する当期純利益	
797 百万円	● 在外子会社からの配当金に掛かる源泉税及び当該子会社の留保利益に係る税効果として法人税等調整額を計上。 ● 1株当たり配当金は、19円を予定。
前年度比 △79.2%（3,039百万円減）	

© 2023 Furukawa Battery

22年度 連結業績サマリー

■ 売上高は**増収**。営業利益は原材料およびエネルギーコストの高騰により**減益**。

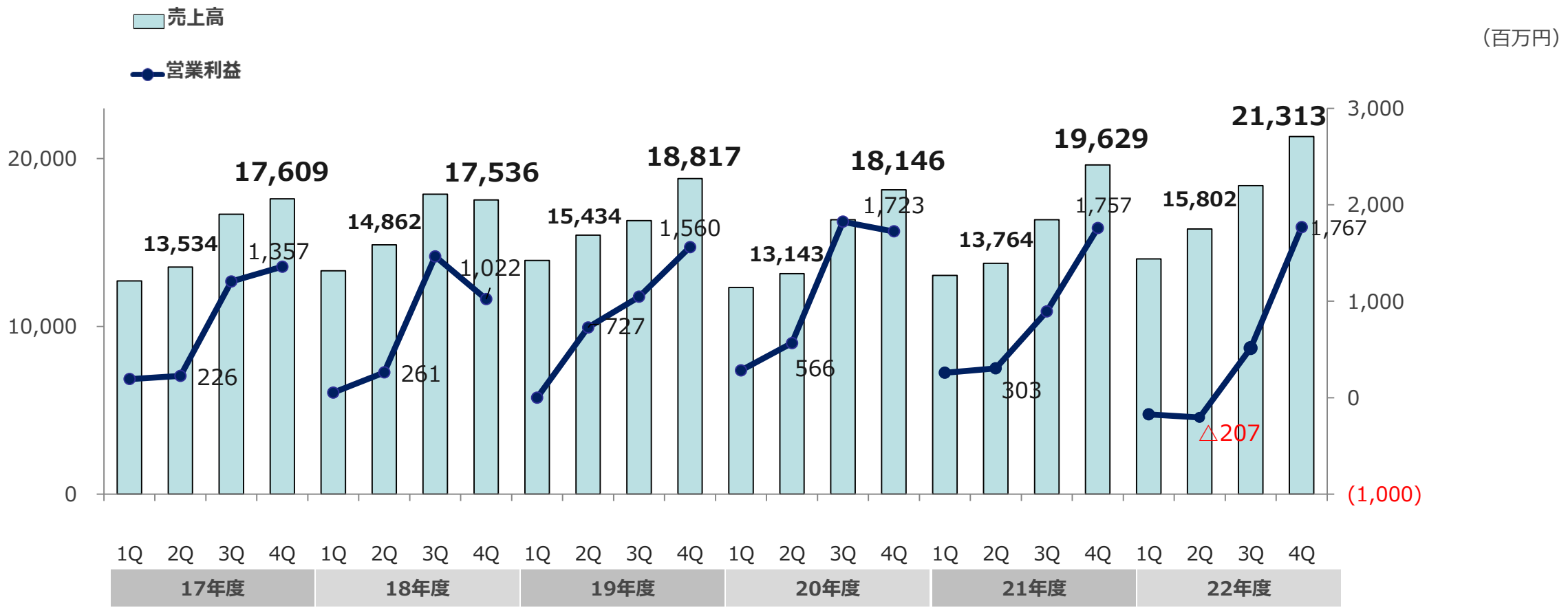
（単位：百万円）	21年度 実績	22年度 実績	前年度差（増減）	前年度比
売上高	62,785	69,538	6,752	10.8%
営業利益	3,212	1,900	△1,312	△40.9%
対売上高比率	5.1%	2.7%		
経常利益	3,394	2,193	△1,200	△35.4%
対売上高比率	5.4%	3.2%		
親会社株主に帰属する当期純利益	3,837	797	△3,039	△79.2%
対売上高比率	6.1%	1.1%		
海外売上高	20,705	24,723	4,018	19.4%
海外売上高比率	33.0%	35.6%		
フリー・キャッシュ・フロー	3,449	△2,510	△5,959	－

鉛建値（平均）：21年度 31.7万円/t ⇒ 22年度 34.6万円/t

© 2023 Furukawa Battery

売上高・営業利益の推移_四半期

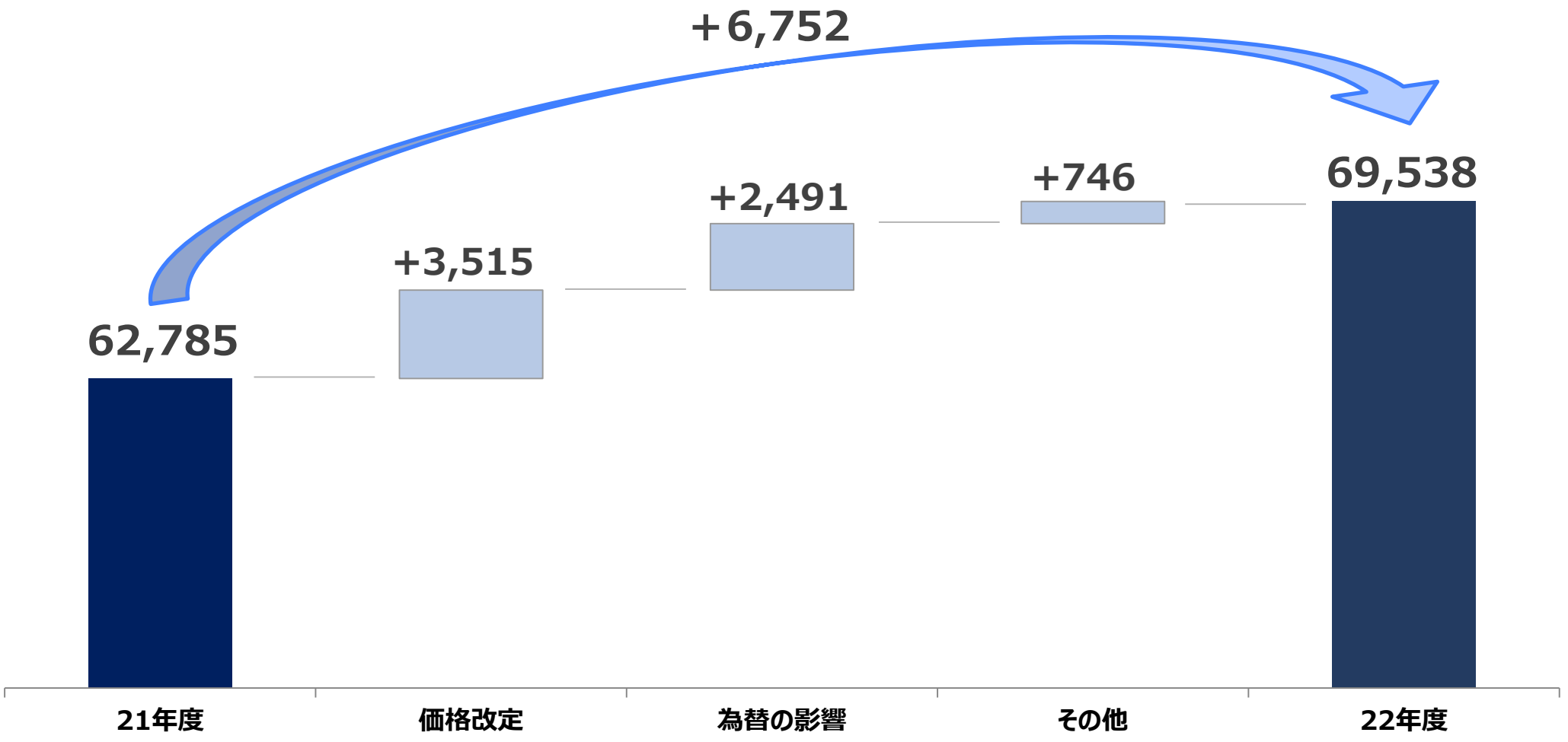
■ 自動車事業・産業事業は売上が堅調に推移したものの、原材料等やエネルギーコストの価格高騰により**減益**。



© 2023 Furukawa Battery

連結売上高 増減分析

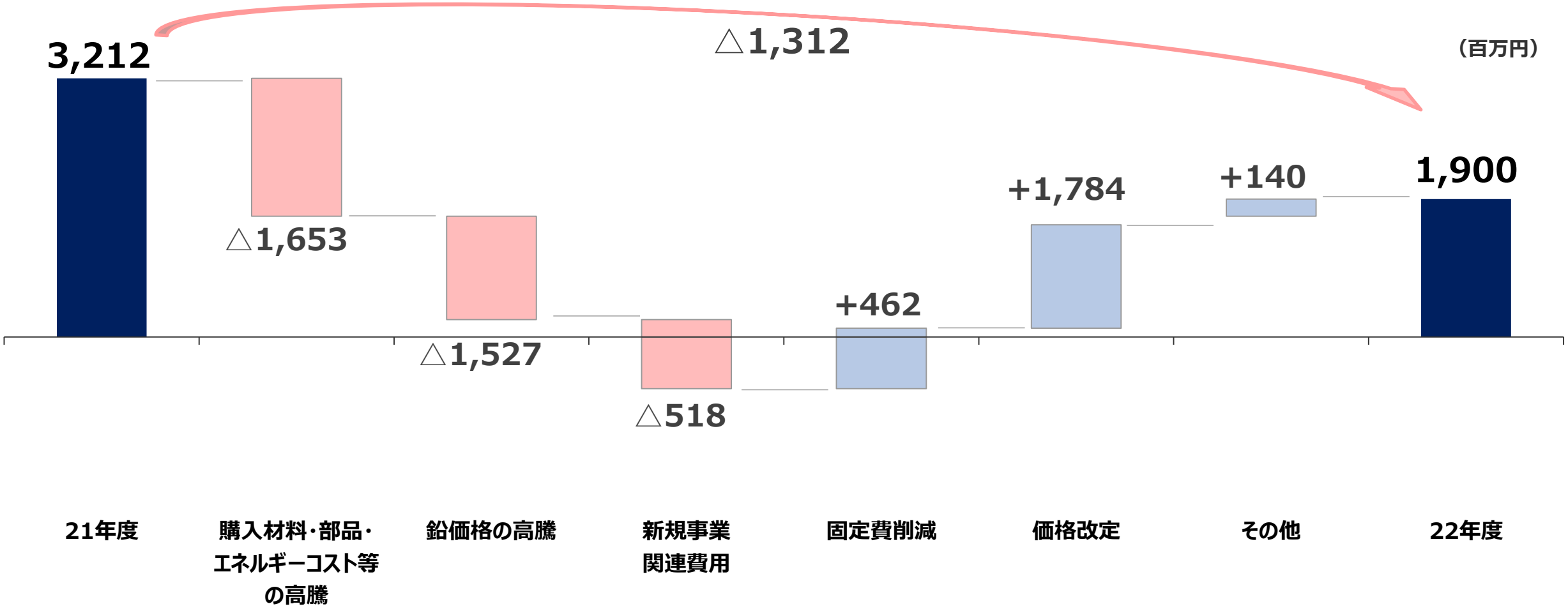
■ 売上高は、価格改定や為替の影響により**増収**。



© 2023 Furukawa Battery

連結営業利益 増減分析

■ 価格改定や固定費削減等の活動を推進したものの、原材料価格等やエネルギーコストの高騰により**減益**。

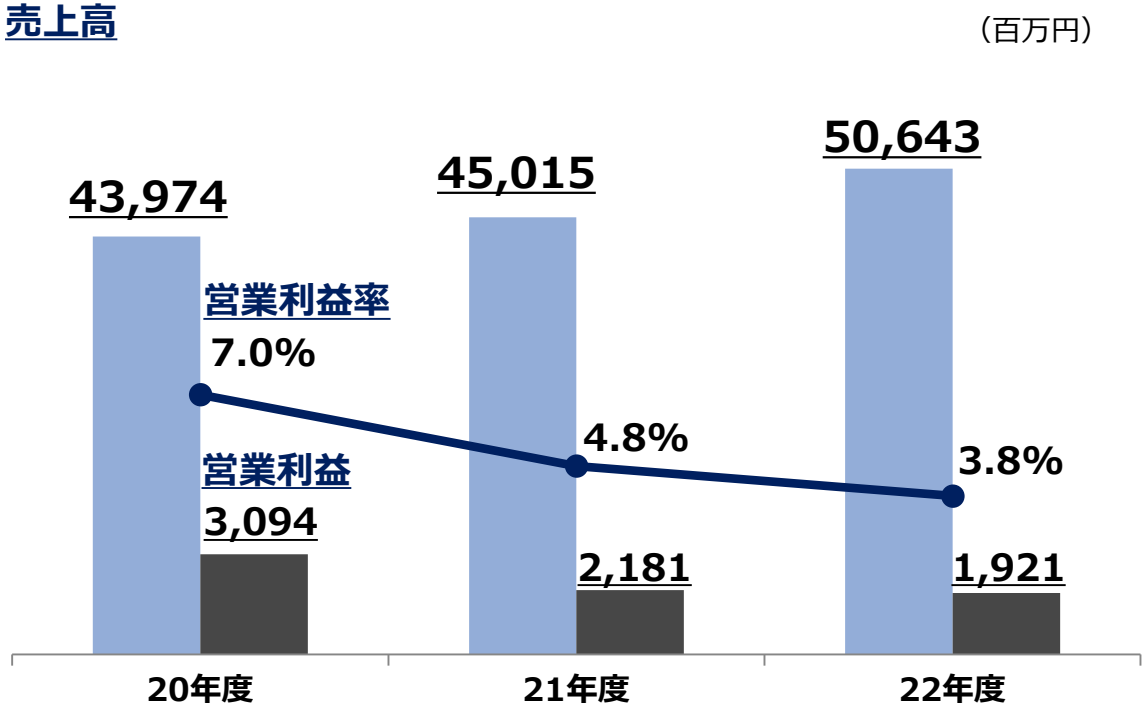


© 2023 Furukawa Battery

自動車セグメント 決算概況

自動車 セグメント	日本国内・海外とも新車数量増加、価格改定や為替の影響もあり**増収**。 原材料価格等やエネルギーコストの高騰により**減益**。			
	売上高	50,643百万円	前年度比	12.5%（5,628百万円増）
	営業利益	1,921百万円	前年度比	△11.9%（260百万円減）

売上高



- **日本：**
  新車向け数量は増加、補修向け数量は前年並みに推移。
  原材料等やエネルギーコストの価格高騰により**増収減益**。
- **タイSFC：**
  新車向け数量は増加したが、補修向けは市場がスローダウン。
  2輪向けが堅調に推移したことに加え、
  固定費の削減・価格改定が進み**増収増益**。
- **インドネシアFIBM：**
  新車・輸出向けの数量が堅調に推移し、**増収増益**。

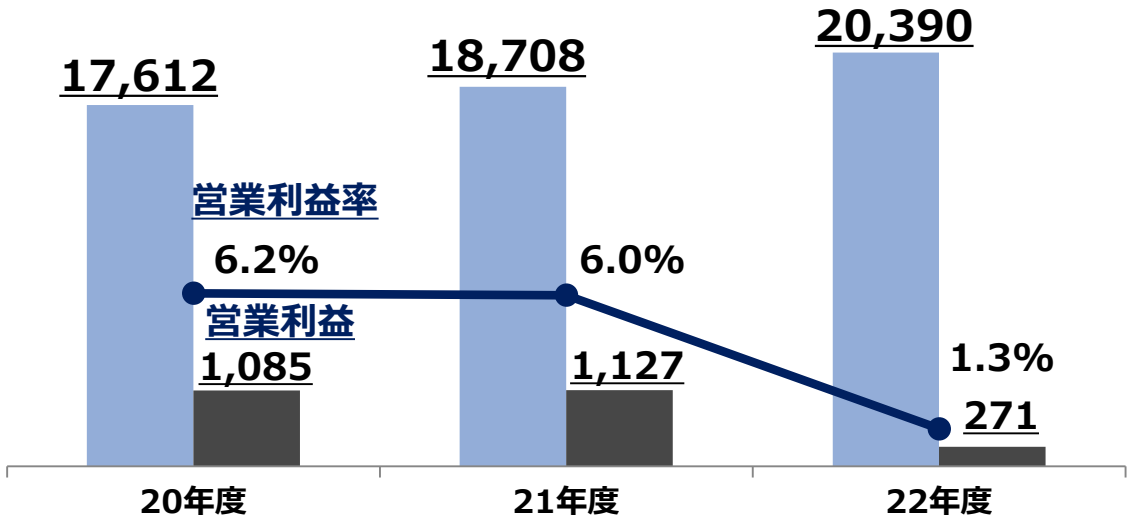
© 2023 Furukawa Battery

産業セグメント 決算概況

産業セグメント	原材料価格、部品等の調達コスト、エネルギーコストの高騰により**増収減益**。			
	売上高	20,390百万円	前年度比	9.0%（1,682百万円増）
	営業利益	271百万円	前年度比	△75.9%（856百万円減）

売上高

（百万円）

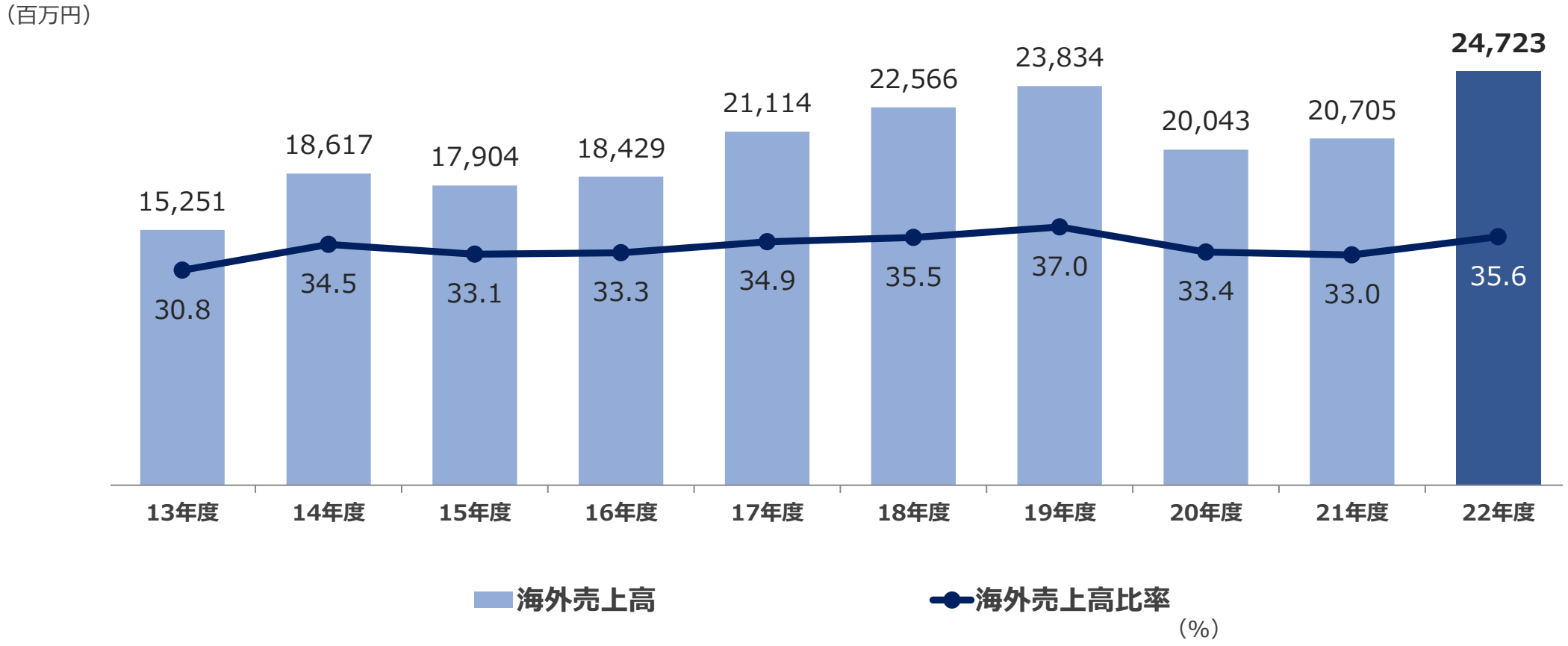


- データセンター市場については、引き続き堅調に推移。
- 蓄電池事業譲受による売上増加。
- 価格改定の効果が限定的。
- 部品の長納期化により工事の工期延長や調達コストの増加が発生。

© 2023 Furukawa Battery

海外売上高

■ 22年度はタイ・インドネシアの売上が堅調に推移し、過去最高の海外売上高。



© 2023 Furukawa Battery

連結貸借対照表

- 部品調達の長納期化により在庫期間が延長し、受注見込みに対する部品確保のため、たな卸資産は27億円増加。
- 有利子負債（短期借入金および長期借入金）は、9億円増加。

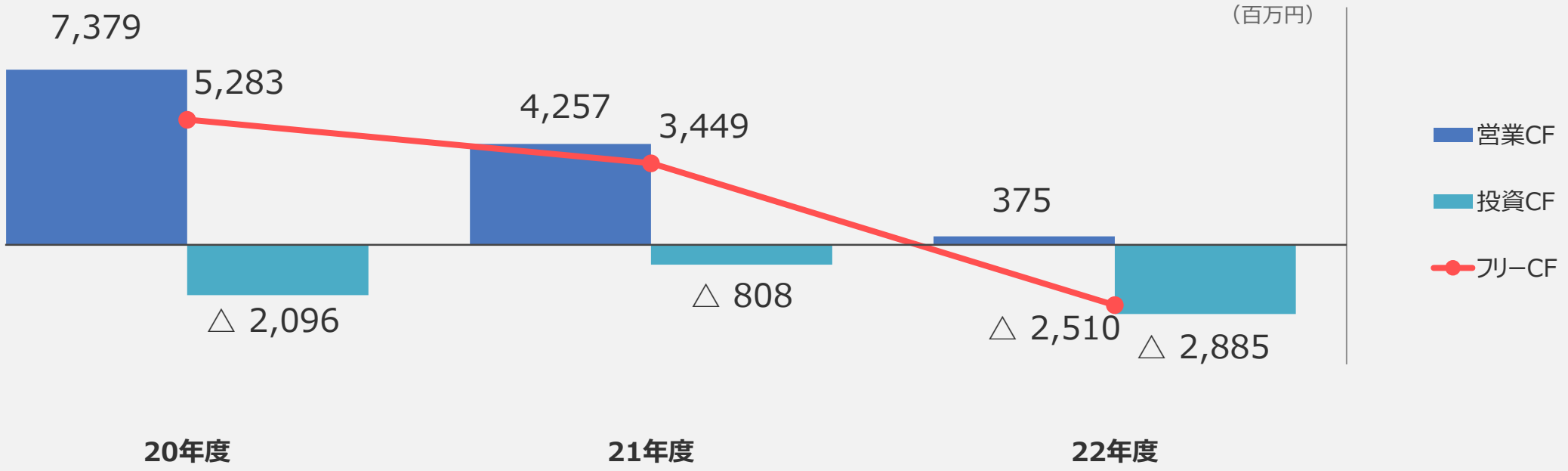
（百万円）

資産	22.3 末	23.3 末	増減額
流動資産	32,548	34,669	2,120
現金及び預金等	10,169	8,226	△1,942
受取手形及び売掛金等	13,663	14,833	1,170
たな卸資産	7,650	10,364	2,713
固定資産	28,133	28,609	476
有形固定資産	23,081	23,891	809
無形固定資産	782	1,007	225
投資その他の資産等	4,268	3,710	△558
資産合計	60,681	63,278	2,597

負債・純資産	22.3 末	23.3末	増減額
流動負債	16,451	17,318	867
支払手形及び買掛金等	7,755	8,064	306
短期借入金	3,641	4,189	547
固定負債	10,404	11,012	608
長期借入金	1,434	1,800	366
退職給付に係る負債	7,175	7,241	66
純資産	33,826	34,947	1,121
利益剰余金	29,057	29,133	76
負債純資産合計	60,681	63,278	2,597

© 2023 Furukawa Battery

連結キャッシュフローの状況



営業CF・投資CF

■営業CFの減少　（前年同期比 △3,882）

- 税引前当期純利益の減少　(同△3,065)
- たな卸資産の増加　(同△1,321)

■投資CFの減少　（前年同期比 △2,077）

- 無形固定資産の取得による支出の増加（同△522）
- 投資有価証券の売却による収入の増加（同△1,451）

ポイント

■事業損益の減益、棚卸資産の増加などにより、営業CFが減少し、前年度計上した投資有価証券売却収入が減少したことにより、フリーキャッシューは前年同期比△5,959百万円。

© 2023 Furukawa Battery

02 23年度 業績予想

© 2023 Furukawa Battery

23年度 業績予想の前提

- 鉛価格について、市況（LME）は昨年と比較して低下傾向にあるが、円安による為替影響がマイナス要素。
- 原油価格高騰によるエネルギーコスト増加、部品調達難による調達コストの増加などの影響がマイナス要素。
- 新規事業（バイポーラ・Lib）および新基幹システム構築について、それぞれ費用が発生する見込み。

自動車（国内）	● 原材料費、部品、動力費高騰のリスク要因に注視し影響を吸収する対策とともに、価格改定を進める。 ● 新車生産台数回復により新車向け数量は増量を見込む。 ● 補修向けは堅調に推移することを見込み、環境配慮車向け製品の拡大を進める。
自動車（タイ）	● 新型コロナウイルス後の需要回復を見込み、タイ国内外のシェア奪取により数量増を見込む。 ● 電力代高騰などによるエンドユーザーの購買力低下（市場のスローダウン）を懸念。
自動車（インドネシア）	● 新型コロナウイルス後の需要回復を見込み、取替需要の拡販を推進、 ● 販売価格への転嫁（値上げ）によってマイナス影響はカバーできる想定。
産業	● 大規模データセンターは、堅調に推移すると見込む。 ● 部品価格・エネルギーコスト高騰分ついては、引き続き要注視。販売価格転嫁策を施す。
リチウム	● 航空法改正によるドローン市場の変化に要注視し、ご要望に合わせた製品開発に注力。 ● ドローン向けに新製品を投入し、更なる拡販を見込む。

© 2023 Furukawa Battery

23年度 連結業績予想

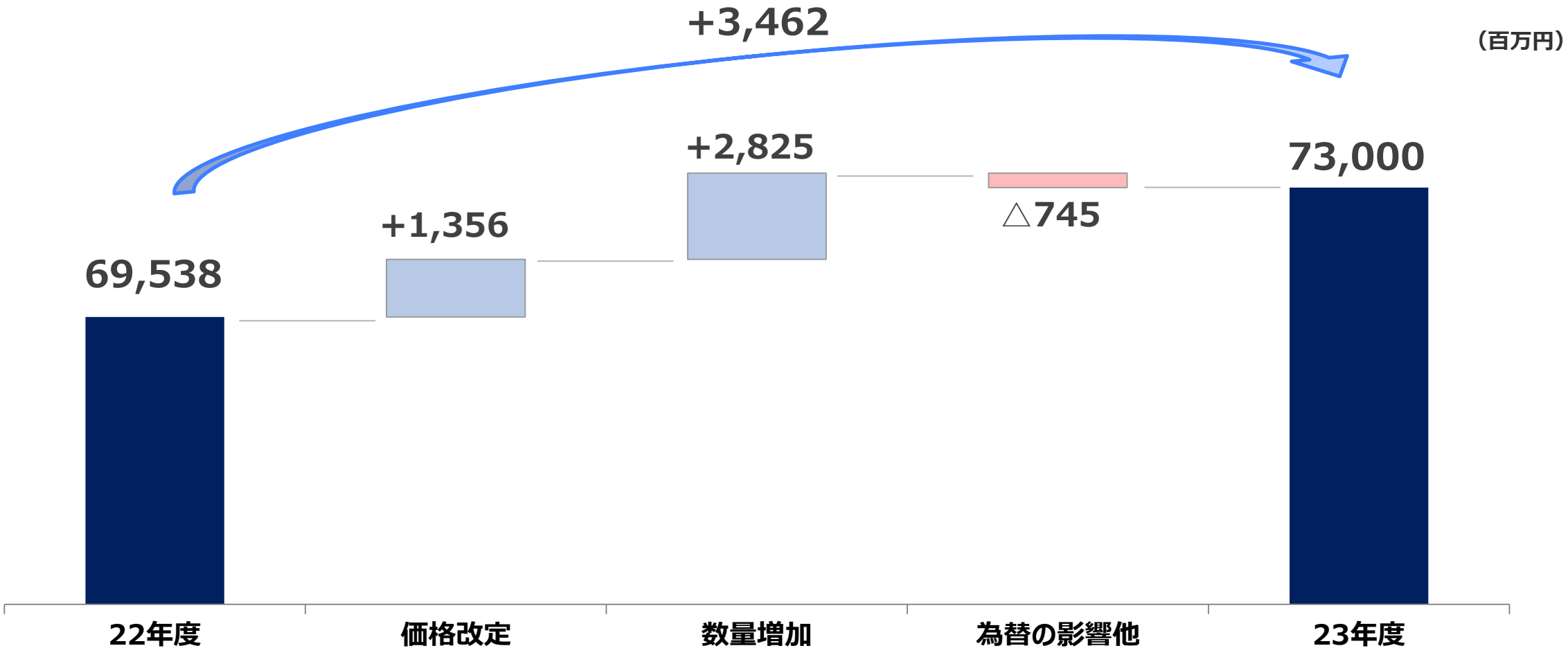
■ エネルギーコスト等の増加分を価格転嫁するとともに原価低減を推進する。

（単位：百万円）	22年度 実績	23年度 予想	前年度差 （増減）	前年度比
売上高	69,538	73,000	3,462	5.0%
営業利益	1,900	2,400	500	26.3%
対売上高比率	2.7%	3.3%		
経常利益	2,193	2,500	307	14.0%
対売上高比率	3.2%	3.4%		
親会社株主に帰属する当期純利益	797	2,200	1,403	175.8%
対売上高比率	1.1%	3.0%		
1株当たり配当金（円）	19	21	2	-
参考：鉛建値（万円/t）	34.6	33.3	△1.4	△4.0%

© 2023 Furukawa Battery

連結 売上高 増減分析

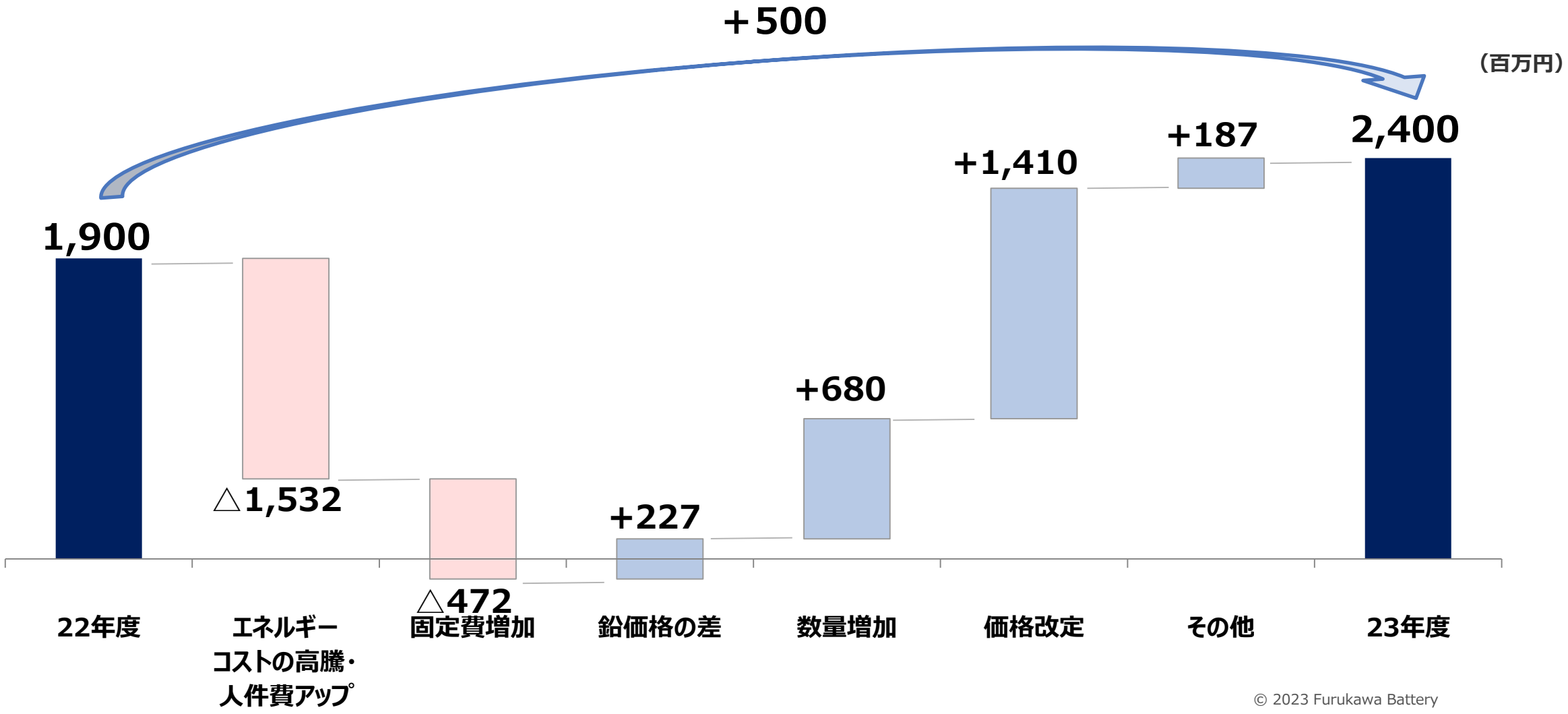
■ 23年度は、原材料価格等やエネルギーコスト増加分の価格改定に加え、更なる拡販活動により**増収**の見込み。



© 2023 Furukawa Battery

連結　営業利益　増減分析

■ 23年度は、エネルギーコスト増加分の価格改定に加え、拡販施策を推進させ、**増益**の見込み。



© 2023 Furukawa Battery

配当予想

- 22年度の配当金は、1株当たり19円。配当性向は78.1%。
- 23年度の配当金予想は、1株当たり21円。
- 事業の成長性と財務健全性の最適バランスを追求し、中長期的に安定した配当を実現。

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
ROE (%)	9.4	8.7	12.8	12.2	2.4	-
1株当たり配当金 (円)	11	13	22	22	19	21
配当金総額 (百万円)	360	426	721	721	622	688
配当性向 (%)	15.9	19.0	19.9	18.8	78.1	31.3

© 2023 Furukawa Battery

03 トピックス

© 2023 Furukawa Battery

TOPICS-① バイポーラ型鉛蓄電池の取組み

国内パートナーと連携した実証試験を開始・継続中

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
11 住み続けられる まちづくりを
13 気候変動に 具体的な対策を
17 パートナーシップで 目標を達成しよう

2022年度 実績

【バイポーラ鉛蓄電池を活用した実証試験開始】

- 佐賀県小城市庁舎のオフグリッド電力供給システムで実施実験開始
- 古河電工・平塚事業所の蓄電システムでの実証実験を開始

バイポーラ型鉛蓄電池

評価項目

【特性】【動作状況】【安全性】

【保守メンテナンス性】

2023年度計画

【パートナー企業様への納入を促進】

- 契約済のパートナー企業と連携した実証実験計画を促進
- 実証試験結果を素早くフィードバックし製品力の向上を図る
- 量産化計画を推進

中期経営計画

目標：2025年度 売上高30億円

© 2023 Furukawa Battery

TOPICS-② 脱炭素社会実現への貢献

国内生産拠点のカーボンニュートラルに向けた取り組み

- 「脱炭素社会実現への貢献」をマテリアリティの1つとして特定し、2025年にCO_2の排出量を2017年度比で25%削減することを目標に設定。
- 日本国内生産拠点に太陽光発電設備を導入し、電力消費に係るCO_2排出量を488t削減する。
- 実施期間：2022年11月～2024年3月

太陽光発電設備導入済み生産拠点
いわき事業所（福島県いわき市）

太陽光発電設備導入予定　生産拠点

エフビー工場（栃木県日光市）

今市事業所（栃木県日光市）

富山工場（富山県富山市）

© 2023 Furukawa Battery

TOPICS-③　新しいソリューションビジネスへの挑戦

ESS（Energy Storage System）実証試験を開始

これまで	2025中期経営計画
電池販売	
	システム事業

■ 再生可能エネルギー用途を中心としたシステムベンダーに対して、サイクルユース鉛蓄電池を供給する。

■ 本実証試験にて、太陽光発電の有効利用、自家消費によるCO_2排出量の削減、設計・工事・運用サービスまで全工程の課題抽出を実施。2024年度の商品化を目標に推進中。

■ 実証試験で得られたデータ・知見を活かし、お客様のニーズに応える満足度の高いシステムやサービスを開発する。

今市事業所（栃木県日光市）
ESS（Energy Storage System）

© 2023 Furukawa Battery

TOPICS-④　コーポレートガバナンス

ステークホルダーとの連携を強化し、企業価値向上の取り組みを推進

「マルチステークホルダー方針」の策定

1.　従業員への還元

人材育成・従業員エンゲージメント向上

2.　取引様への配慮

パートナーシップ構築宣言の内容遵守

3.　その他のステークホルダーへの取り組み

マテリアリティ（重要課題）の推進

パートナーシップ構築宣言を発表

サプライチェーンの取引先様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを宣言しました。

パートナーシップ構築宣言

© 2023 Furukawa Battery

古河電池は、社会的価値と経済的価値の両面から社会課題に向き合い、

お客様と社会に寄り添うサステナビリティ経営を実践し

本業で培った技術とノウハウを活かしながら企業価値の向上に努めてまいります。

今後も健全性・持続可能性をいっそう高め

SDGsを達成し、サステナブルな社会の実現に挑戦します。

© 2020 Furukawa Battery

将来情報についての注意事項

本資料における当社および当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来情報に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等の結果は、想定と大きく異なる可能性があります。これら将来情報に関する記述には、多様なリスクや不確実性が内在しており、主要なものとして以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

・為替相場の変動による影響

・主要製品に使用される原材料の価格変動

・海外における政治的および社会的リスク

・取引先の業績悪化等

・大規模災害（地震や風水害などの自然災害、伝染病・感染症の流行）等の影響

なお、本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。

（注）当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本会計基準」を採用しています。
年度表記について、21年度は2022年3月期、22年度は2023年3月期（以下同様）を表しています。

© 2023 Furukawa Battery